

# 社協だより

## たるい

平成22年12月1日

編集発行  
垂井町福祉会館内  
垂井町社会福祉協議会  
TEL 23-3335  
FAX 22-2714



### 福祉講座

たくさんの方が  
受講されました



### おもな内容

- 各地区ささえあい連絡会活動
- 平成22年度 社協会費  
ご協力ありがとうございました
- 中学生のワークキャンプ
- 赤い羽根共同募金  
あたたかい善意の寄付  
ありがとうございました
- ひとり暮らし高齢者のつどい
- 心配ごと相談
- 手話教室・福祉巡回車寄贈
- 福祉講座

2010.12

第74号

垂井町社会福祉協議会のホームページアドレス <http://www.tarui-shakyo.jp>



この広報紙は、皆様からの会費と赤い羽根共同募金の配分により発行しています。

# 誰もが住み慣れた地域で 安心して暮らせるように

## 各地区

### ささえあい連絡会

平成20年12月に町内各地区に設立されたささえあい連絡会も今年で3年目を迎えました。

少子高齢化や核家族化にともなう、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯の増加、孤独死、生活支援の問題等、社会において様々な課題が生じています。

このような地域における課題を、そこに暮らされる方が共有し、解決していけるようなまちづくりを進めるため、このささえあい連絡会は設立されました。

ささえあい連絡会の目的の一つである、会を構成する自治会長、民生委員・児童委員、福祉推進員等、様々な人や団体の連携を密にし、共に地域の課題を解決していけるようにするための活動も徐々に進みつつあります。

各地区のささえあい連絡会が

地域福祉推進の

中核として、今後

ますます発展し

ていくことが期

待されています。



## 地区ささえあい連絡会 情報交換会

10月21日(木)、垂井町福祉会館において、各地区ささえあい連絡会の代表の方々が一堂に会し、「平成22年度地区ささえあい連絡会情報交換会」が開催されました。

各地区ささえあい連絡会の現状や課題、その解決のヒント等について意見交換がなされました。



## 東地区ささえあい連絡会

平成22年度総会  
(7月16日、東公民館)



総会後は池田町の地区福祉連絡協議会の樋口光義氏、今西和人氏に池田町の見守り活動についてお話をきかれました。

## 垂井地区ささえあい連絡会

平成22年度総会  
(7月8日、中央公民館)



総会後の研修会の様子。地域での支え合いについて、岐阜県社会福祉協議会地域福祉部の齊藤浩昭氏のお話を熱心にきかれる参加者の方々。

### 栗原地区 ささえあい連絡会



平成 22 年度総会  
(6月24日、合原公民館)



総会后、要支援者マップを  
更新するため情報交換され  
る参加者の方々。

### 表佐地区 ささえあい連絡会



平成 22 年度総会  
(6月16日、表佐公民館)



総会后、地域でのボランティア  
活動の魅力について、関ヶ原  
町のふれあい劇場あい・愛座  
座長・三輪英信氏からお話  
をきかれました。

### 宮代地区 ささえあい連絡会



平成 22 年度総会  
(6月23日、宮代公民館)



総会后、要支援者マップを  
更新するため情報交換され  
る参加者の方々。

### 岩手地区ささえあい連絡会

平成 22 年度総会  
(6月9日、岩手公民館)



総会后、昨年12月から  
自治会ごとに作成を進  
められている要支援者  
マップについて経過報  
告されている様子。

### 府中地区ささえあい連絡会

平成 22 年度総会  
(6月13日、府中公民館)



総会后、昨年作成した  
要支援者マップを更新  
するため情報交換され  
る参加者の方々。



11月4日(木)、石川県の加賀市社会福祉協議会・地域福祉部の皆さんが、垂井町にいらっしやいました。ささえあい連絡会設立の経緯やささえあい連絡会を中心とした地域福祉推進事業の状況について本会から説明後、加賀市と垂井町との間で地域福祉推進に関する課題や解決方法について情報交換が活発になされました。



# わたしの福祉体験

## 中学生がワークキャンプに参加

夏休みを利用して不破中学校と北中学校の生徒さんがワークキャンプに参加されました。

8月3日、いぶき苑様のご協力で実施したワークキャンプには、北中学校から、高木童夢さん(3年)他2名の生徒さんが参加され、車イスや、介護食の体験をされました。また、施設のご利用者との交流をしながら、翌日に開催される盆踊り大会の準備を手伝いました。

8月20日にあゆみの家様のご協力により実施したワークキャンプには、不破中学校から8名の生徒さんが参加されました。各グループに分かれ、あゆみの家のご利用者の方々と一緒に作業したり、交流したりされました。

どちらのワークキャンプにおいても、普段はできない貴重な経験ができ、多くのことを学ばれました。  
ここでは、各生徒さんのそんな貴重な体験をご紹介します。

### あゆみの家

#### ワークキャンプで感じたこと

不破中学校 三年 伊藤 耀一

今日、あゆみの家でワークキャンプに参加し、施設の方々と交流して、いろいろなことを感じた。

正直、ぼくはこのワークキャンプに乗り気じゃなかった。障害者の方々、というのにもなんだか抵抗感があったし、いつもと違う環境の中で半日過ごす、というのも嫌だった。交流をはじめた当初もうるさいし、何をしていけばいい

「握手をした」

少し前、まだ幼い従兄弟と遊んでいた時にふとその小さな手に僕の手を握られて、そのあたたかさを感じて、「やっぱりこの子も生きてるんだ」と思ったことがあった。その時と同じような気分が握手をした時になった。

気持ち悪い、とか嫌だ、とか同じ生きている人に対して感じるのは失礼じゃないのか。やっぱりみんな生きてるんだ。そう感じることで自然と笑顔で接することができるようになった。障害があるとかそういうのは関係ない、と思った。

その思いを忘れず、これからも生きていこうと思った。

#### ワークキャンプを通して

不破中学校 三年 坂本 有輝

僕はあゆみの家のワークキャンプに参加して、施設利用者の仕事へのがんばりぶりを知ることができてよかったですと思っています。

僕は利用者達の主な仕事場である「エール」という建物の中で、空き缶やペットボトルをつぶし、リサイクルにつなげるという仕事を体験させていただきました。最初はこの仕事を託されたことを、別にすばらしいことだとも、つまらないことだとも思わず、ただやっているだけでした。実はこの空き缶やペットボトルを

つぶすという地味で大してやりがいもないように思われる仕事で、施設利用者にとっては大変な仕事だったわけですね。

スパーマーケットなど、人が飲み物を口にする場所へ回収箱を設置し、一定の時間が経つごとに体もろくに動かせない人達が箱を回収しに行き、時間と労働力をかけてたつぶすという仕事を、一生懸命にやるのです。

僕達にとってはいたって簡単にできた缶つぶしも、利用者の方達にとっては、すごく難しいことなのです。少しでも大きな力が加わるように、足の効率的な使い方を教えてあげたり、一緒につぶした空き缶やペットボトルを運んだりしているうちに、自分の体が自由に動かせ、自由に行動できることが、なんだか申し訳なく思ってきました。

いつも皆、飲んだ後の缶やペットボトルを捨て、それで全てが終わったように思っているかもしれないが、こうしたあゆみの家の利用者達の地道で限らない努力のおかげで、リサイクルという言葉も成り立っているのだと分かりました。

捨てることをしっかりと重たく受け止め、自分に与えられた自由を大切にしていきたいと思えます。そして、障壁がある人達だからといって遠ざけるのではなく、今後も一緒に苦労をかみしめる場を共有していきたいと思えます。

#### あゆみの家へ行って...

不破中学校 三年 高木 博喜

今日、あゆみの家のワークキャンプに参加して、初めはなにをして良いのかわからずにあゆみの家の人のかたに指示をしてもらって、もすべに行動にうつすことができなかつたけど、だんだん時間がたつにつれてあゆみの家で生活している人たちからしゃべりかけてくれたりして、とてもうれしかった。

僕は、今日の一日を通して、いつもは仕事をもらってそれをやっていると思うけど、今回は、仕事がかたかったそうなのでおやつ作りをしていて、とてもみなさん楽しそうに作っているし、僕や宮田くんに「やってみない」と言うように手まねきしてくれる人もいて、その人のおかげで、やることけっこう楽しくおやつ作りを楽しむことができました。帰る時間が来ると、今日一日お世話になった人たちが「また来てね」や「じゃあね」などと声をかけてもらってとてもうれしかったです。だけど、楽しかった気持ちとは逆の気持ちを持っていた自分はずかしくなってしまうし、なるべくどんな人でもしゃべったりすることができているあゆみの家のかたがたはすごいと思えました。

またこういう交流することがあったら、もう一度行ってみたいと思うし、行くことができたのなら今回あまり話すことができない

かつたのでしゃべりかけられるようにして、福祉の家などに行きたいと思いました。

### ワークキャンプを終えて

不破中学校 三年 多和田光次郎

今日、あゆみの家のワークキャンプに参加して、本当に一人一人持ちようがある人ばかりで色々な人がいて不安な気持ちもありました。交流が始まって何をしてやればいいのかわからなくて、ただ立っているだけでした。職員の方から仕事を教えてもらっても同じ事の繰り返しで嫌気が指すこともありましたが、利用者の方を見るとゆつくりながらも自分の仕事をなれた手つきでこなしている、一生けん命やっていたので「僕もなにか力にならない」と言う気持ちも芽生え始めてきて集中して仕事をするのが出来ました。お昼ごはんの時も食堂に行く利用者の方々がみんな協力して盛りつけや配りをしていて、僕達の給食の時みたいにする人とは全然違う感じが分かっていて、僕達も分擔された仕事をしっかりやっていたので、僕達も見習う所がたくさんあるなあと感じました。お昼ご飯が終わった後に大きな部屋にみんな集まって音楽を楽しむイベントも、利用者の方が積極的に話しかけてくれてだんだん溶け込むことができたし、みんな楽しくやることができました。午後からの作業も午前中と同じこと

をやったけど、午前中と違って利用者の方との会話が多くなつてみなさんの事もわかってきました。本当に普段体験できないことがたくさんありました。この貴重な機会を無駄にしないで、より一層思いやりの心をきたえることができたのでこれからもボランティアの芽を伸ばせるようにします。

### 小さな支えから始める

不破中学校 三年 廣瀬 雅人

福祉について、実際はどんな事なのか、僕はほとんど知りませんでした。いくらカイメージは出来るのだけれど、実際に体験するまで分からない事が、たくさんありました。自分の仕事は、書いて、切つてを繰り返す作業がほとんどでした。それくらいしか、お手伝いする事ができなかったのだと思います。様々な人と接することはとても難しいことです。社会の中で自分はまだまだ未熟です。

でも、多くの人と楽しく会話をしたり、音楽を楽しむことは自分にもできました。それは自分から輪の中に入ったのではありませぬ。一人の男性の方が、僕の手を引いて輪の中へ入れてくれました。それから自分から、声をかけていくことができました。

あゆみの家のスタッフの方々も、明るくて楽しい人達ばかりでした。おもしろい話をして、とても楽しい時間を過ごせました。今回のワークキャンプを通して、

福祉についてさらに深い興味、関心を持ちました。

今の自分達にできることは何かを考えたとき、あまり大きなことはできません。だから今回のワークキャンプのような福祉活動に参加することが、今できる一番の支えです。

これからの生活の中で、身のまわりにある小さな福祉を見つけてから、始めていきたいと思っています。

福祉以外の場合でも、自分ができることを見つけ、実行していきます。

### ワークキャンプに参加して

不破中学校 三年 松井 佑樹

僕はあゆみの家ワークキャンプにボランティアとして参加しました。このボランティアは障害者の方々と接するという一味違うことを体験しました。中々体験できないことをして、僕は一回り成長できた気がします。

最初は抵抗の気持ちもありました。自分達とは少し違う人と接することがいやでした。でも僕は自分のグループの「たけのこ」であゆみの家の方と一緒に仕事をしていく中で、「たけのこ」の全員が一生けん命自分の任された仕事をしてくれていました。この人たちも自分のことを必死でやっているのだと。この背景を見て現代人の僕達がおろそかにしていたことを思い出しました。それは「自分の仕事を自分でや

りきる」ことです。僕達はめんどくさい、もういややなどと思うたらずぐに投げだして任された仕事をしない人もいます。でもあゆみの家の方々は、たとえ作業がゆつくりでも、任された仕事を確実に最後までやっているのを見て感心しました。自分の仕事は自分でやる、そんなことをあたりまえにやっている姿をみて、すごいと思いました。

僕はワークキャンプに参加して忘れかけていたことをとりもどせたような気がします。

このワークキャンプを僕自身の一つのきっかけにして、これからの受験や未来のために、この気持ちがつながっていかねばいいと思っています。

### あゆみの家

不破中学校 三年 宮田 寛大

今回のあゆみの家のボランティアでは、たくさんの方々とふれあう事ができ、良い経験ができたなあと感じます。最初は、あんまりこのボランティアをやる事をめんどくさがっていたけれどもこの一日の間あゆみの家のみなさんとふれあってみて、いろいろな事を知ったりする事ができました。

行く前の僕は、めんどくさなあの気持ちだったが、終わって見た今の感想は、やってよかったなあとという気持ちでした。そんな気持ちの変化には、障害をもっている方々が、僕に優しくせつしてくれてからだと思う。

活動の午前中には、牛乳パックのかいぼうの仕方や、めくり方を親切に教えてくれた。午後には、一緒に白玉団子をつくった。その時には、粉をまぜていくのをやってみてと言ってくれたり、一緒にまぜてきた物を小さくしてまとめるためにやることをやってみてと言ってくれたりしたから楽しく一日活動ができたと思った。

普段は、あまりせつする機会がない障害をもった方々との交流では、障害をもった方々が毎日どんな生活をしているのか知る事ができたりと、このボランティアをしてたくさんを知った。

まだ、日本は障害をもった人々が社会にでて、なに不自由なく暮らせる分けじゃないからこれから障害をもった方々が不自由なくくらせる日本に変えていきたいと僕は、思いました。





### あゆみの家

不破中学校 三年 山本 仁

八月二十日、あゆみの家のワークキャンプにボランティアとして参加しました。

最初に僕は、他人の人と話しをしたりするのが苦手で、全然話せませんでした。でも、あゆみの家にいる人たちは優しく、話しかけてくれたり、いっしょに作業をしたりと仲良くあゆみの家の人たちと接することができてとても良かったです。

午前中は、缶をつぶす、という作業をしました。缶はとても多くて、全然、量がへらすともつかれたけれど、だんだんとなれてくると作業が進み、全体の半分はつぶすことができました。

ただ、午後からは日ざしがとても強く暑くて、作業に集中することができなくて、作業を止めてしまう場面があったけれど、いっしょに作業をしていた坂本君を見ると、がんばろう、という気持ちになり、何とか、缶つぶしを終えることができました。

一日のワークキャンプを終え、僕はさまざまなお話を学べたような気がします。向こうの話しのペースに合わせたり、声をななるべく大きくすることで、コミニケーションがとれることも、おねがいしますや、ありがとうございましたのあいさつも、知らない方と接することで学べました。一日は、とてもつらく大変だったけれど、仲間と協力することで、のりこえること

ができとても良い体験になりました。一日、ありがとうございました。

### いぶき苑

#### ふれ合いのパワー

北中学校 一年 桜田 里奈

わたしは、今回のワークキャンプに参加して、とてもすっきりした気持ちになりました。

最初、すごく不安だったけれど、おばあさんがここにこしながら話してくださるので、わたしも笑顔で、話すことができました。まず、お年寄りの方が、飲みこんでむせないための食品を試食しました。食べた時、今まで味わったことのない食感だったので、びっくりしました。でも、すごく便利な食品があったのです。と思いました。

次に車いす体験をしました。小学校の時に体験したことはあったけれど、片手だけで進んだり、座つたら自然にブレーキがかかる車いすがあるのでびっくりしました。見たことのない車いすでした。とても便利だし、乗る人が楽で安全になるので、とてもいいと思います。また、盆おどりの祭りの方が喜んでいただけるといって、いっしょに夏らしい飾りを付けて、ごみ箱を作りました。完成した時は、すごくほっとしました。

昼食では、介護がないとなかなか食べることができない方と、自分で食べられる方に分けてお

られました。また、あまり噛みくだくことができない方には、食べ物を細く切つたり、ドロドロにしたりと、その方々に合ったごはんのやわらかさにして作られています。一人一人に合ったごはんを作られていたので、びっくりしました。すごく大変そうだなと思いました。また、介護が必要な方に、実際にごはんをさしあげる仕事をやりました。とても責任があるので、お年寄りの方がうまく食べることができると、心配でした。でも「おいしいですか。」と声をかけながらすると、不安もなくなりました。実際に見てみると、体験したりすると、思ったよりも大変なのでびっくりしました。けれど、大変だからこそがんばれるので、介護の仕事は、とてもいい仕事だと学びました。

一番心に残つたのは、たくさん人の笑顔です。まず、いぶき苑に訪れるとおじいさんが元気な笑顔で握手してくださりました。とてもうれしかったです。また、ごみ箱を作った時もおばあさんが、おかげで気持ちよく作ることができました。笑顔のパワーはすごいんです。笑顔があるだけで気持ちも変わるので、大切だと学びました。この経験で、たくさんの方を学ぶことができ、いろいろな方とふれ合うことができました。

私の将来の夢は、介護士です。今回、経験したことを生かして、将来の夢に役立たいです。そして、もっとたくさんの方を経験して、いろいろな方とふれ合いたいです。

### ワークキャンプに参加して

北中学校 一年 渡邊 有香

私は、この体験でお年寄りのみなさんから多くの笑顔やパワーをいただきました。私の中のイメージでは体を動かかせない、言葉もあまりしゃべることができないの、だらうなあと思っていました。でも、その想いは違っていました。気が付きました。笑顔が絶えず私に寄りそってくれたのでとてもうれしかったです。「なんて心のきれいな方達なんだろう」と思いました。私がいっしょに関わった方々の中に言葉をしゃべることが難しく、自分の思っていることをうまく表現できない方がいらつしやいました。しかし、一生懸命に自分の思いを伝えようとする気持ちがじーんと伝わってきました。私のできることは少ないけれど、そのことができることを一つ一つ、一生懸命に取り組んでいらつしやる姿は私には無いと思いました。なかには、緊張していらつしやるのか、なかなか声をかけても反応していただけないことがあります。でも、私にはこのような姿がお年寄りの方らしくてなんだかうれしくなりました。

ごみ箱作りでは、お年寄りの方々から積極的に手伝いましょうか？と声をかけてくださり、私の仕事のサポートをしてくださいました。とても優しくまるで孫のように声をかけていただいたので、とてもうれしかったです。また、優

しかったので自分の祖母と作業をしているような気分になり、幸せな気持ちになりました。その方々は、手を優しくにぎってくださいましたし、肩に手をおいて笑いに話しかけてくださったので、自分まで笑顔になりました。そして、ごみ箱が完成したときには、「おめでとうー」と声をかけてくださいました。

このように、お年寄りの方々は、自分の個性を周りで生かしていらつしやりました。自分の意思をしっかりと伝えていらつしやるのがとてもすばらしいなあと思いました。まだまだ長生きしていただきたいと強く思いました。

これから高齢化が進み、私が高齢になるころには、介護施設で働く人達ではお年寄りの方を支えることが難しくなっていくそうです。そのためにも今から福祉に目を向け、助け合つて生きていくことが大切だということを実感させていただきました。





この事業は岐阜県共同募金会（歳末たすけあい）の配分を受け実施しました。

11月18日垂井町文化会館において、ひとり暮らし高齢者のつどいが開催されました。  
今回は山本様（垂井町）と市橋様（瑞穂市）による華麗でゆかいなマジックショーを楽しんでいただきました。  
この日は、ボランティアグループ「つばき会」の皆様にご協力をいただきました。



# ひとり暮らし 高齢者のつどい お元気でしたか

## 福祉巡回車を寄贈して いただきました



岐阜県生命保険協会（堤毅彦会長・右）から福祉巡回車の寄贈を受けました。

独居高齢者や在宅介護者のお宅の訪問や地域の見守り活動の推進に活用させていただきます。



## 第28回 手話教室

楽しく充実した教室になりました

手話教室は7月21日から9月22日までの水曜日に全10回のコースで開催しました。

今回は12人の受講生の方が熱心に参加されました。

講師は垂井町聴覚障害者福祉協会の皆様、通訳は手話サークル泉の会の皆様にご協力いただきました。

教室では、手話を学ぶだけでなく、聴覚障がいの方との交流もあり、和やかな教室になりました。



# 福祉講座

福祉やボランティア活動に関する知識を深めていただくため、3回の福祉講座を開催しました。誰もが住み慣れたまちで、いつまでも安心して暮らせるまちづくりの小さなきっかけとなることを願って、今年度はそんなボランティア活動に役立つようなテーマを選んで行いました。どの講座もたくさんの方に受講していただきました。

## 第1回

### 認知症サポーター養成講座

講師 垂井町地域包括支援センター 保健師 高田めぐみ氏  
(講座開講当時)



認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を見守る「応援者(サポーター)」になるための「認知症サポーター養成講座」を垂井町地域包括支援センターの高田さんを講師にお招きして開催いたしました。

受講者の皆さんは、講座受講後、「認知症サポーター」の証であるオレンジリングを受け取り晴れて「認知症サポーター」の仲間入りをされました。



## 第2回

### ボランティアに役立つちょっとした手品

講師 神戸町手品クラブ ファンタジー 代表 金森 一氏

ボランティア活動をする際のコミュニケーションのきっかけとなるような、ちょっとした手品のやり方を垂井警察署にご勤務のころ、手品をまじえた交通安全講話などでお世話になりました神戸町の金森さんに、教えていただきました。

手品のタネ作りに皆さん苦労されていました。ボランティア活動の際にぜひ活用してください。



## 第3回

### 傾聴ボランティアとは

講師 大野町傾聴ボランティア(わかば)

代表 吉田弘平氏 森 繁博氏  
野原妙子氏 山賀克子氏  
吉田伴美氏



大野町で傾聴ボランティアとして長年活動されている傾聴ボランティア(わかば)の皆さんからその活動についてお話いただきました。

昨今話題となっている傾聴ボランティアとは何か、その基本をご自身の経験談をまじえながら説明していただきました。

最後のロールプレイまであっという間に時間が過ぎてしまいました。



## 平成22年度社会福祉協議会の会費募集にご協力ありがとうございました。

会費募集には、皆様のご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。また、会費納入には、自治会長様には格別のご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

会費は、福祉のまちづくり活動事業等の貴重な財源として使わせていただきます。

今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、平成22年度会費のつかいみちにつきましては、平成23年3月1日発行予定の社協だよりでご報告いたします。

会費総額	4,981,500円
一般会費	3,655,500円
特別会費	36,000円
施設会費	85,000円
賛助会費	1,205,000円

賛助会費のご協力をいただいた法人・団体をご紹介します。(平成22年11月15日現在)ご協力ありがとうございます。

### 平成22年度賛助会員・施設会員(順不同・敬称略)

㈱大垣共立銀行 垂井支店 (有)栄クリーニング店 ㈱新和建設 大垣信用金庫 垂井支店 鹿野管工(株) あいはら医院 ㈱イシキ (有)エガミオート カワウチM.R(株) ㈱近藤板金店 (有)サニーワーク ㈱新晃 高木建設(株) 東海労働金庫 垂井支店 はくあい内科クリニック 古井医院 不破ロータリークラブ (有)ヨシダカーテン 株式会社 朱竹 ㈱マルセパン 高和工業株式会社 コーケン産業(株) (有)清水土木 西美濃農業協同組合垂井支店 (有)ニュー不破モータース 吉田木材株式会社 平成興産株式会社 やまざきキッズクリニック ㈱十六銀行 垂井支店 ㈱東建設 シャディーギフト館エムアート 安田歯科 垂井西濃集配(株)	不破医院 (有)桐建 ㈱桐山工務店 ㈱工和製作所 医療法人清澄会 不破ノ関病院 ㈱西濃調理 日本板硝子株式会社 藤井建設(株) (有)宮川鉄工所 ㈱ヤナギ園芸 (有)山元産業 ㈱ユニチカゴルフینگ垂井 (有)みどりや 垂井町民生委員児童委員協議会 ㈱杉山製作所 (有)上田商事 有限会社 太陽金属工業所 ㈱サンホーム 垂井燃料(株) ㈱中山サンコー ㈱室建工 スイトラベル(株) ㈱ハシモト電気 岐阜近鉄タクシー(有) ヤマキ瓦産業(株) (有)晃久工業 中山産業(株) 平野化工 医療法人 安田医院 小野工業所(株) ㈱カサイ 河合製瓦(有) (有)多和田鉄工建築	㈱旭クリエイト 日豊化成(株) ㈱松栄工務店 岐阜県西部電気工業協同組合 日本プライメタル株式会社 株式会社服部精工 ㈱松井組 ユニチカ(株)垂井事業所 ㈱郷鉄工所 中央タイヤ(株) ㈱岩田組 ㈱榎谷栗原工場 和田内科胃腸科 ㈱エイワ 岐菱商事(株) いすゞ自動車東海(株) 有限会社 慈鶏園 垂井樹脂(有) 特定・特別医療法人 博愛会 ひばり薬局 (有)現金屋燃料店 新興鋳物(株) ㈱大脇組 (資)三扇製作所 スギケー精工(株) ダイゼン工業(株) ㈱カジケイ鉄工 クラレプラスチック(株) 三甲(株) 岐阜第2工場 ㈱サンワーク 西濃設備工業(株) ナニワ企業株式会社 有限会社 松井商店	ユニチカ垂井SWサービス(株) ワコー樹脂(株) クゼ工務店(株) 三星磁産(株) ㈱フードセンター富田屋 石川設電(株) (有)伊藤鉄工所 ㈱ソーワ (有)高木工務店 (有)八百清燃料店 ㈱平塚建設工業 ㈱三谷建設 古川医院 ㈱ユニチカ環境技術センター (資)垂井日之出印刷所 (有)吉田工業所 株式会社 伊吹興産 株式会社 サンレール (有)八百清商店 レストランひらつか 鳥居運送(株) 老人福祉センター ハチスチルドレンズセンター 西濃清風園 社会福祉法人 白寿会 特別養護老人ホーム いぶき苑 第二あゆみの家 デイセンターあゆみの家 介護老人保健施設あいかわ 特別養護老人ホームゆのきがわ グループホームだいわ福寿の杜 垂井町保育園8園
--	--	---	--

じぶんの町をよくするしくみ

# 地域の福祉 みんなで参加



10月1日から12月31日まで全国一斉に赤い羽根運動がおこなわれています

10月1日には垂井駅他4カ所で街頭募金を行いました。また、自治会長様を通じて住民の皆様にもご協力をお願いしております。

皆様からのあたたかい募金は、岐阜県共同募金会を通じて、社会福祉施設、社会福祉団体、住民参加福祉サービス団体、地域福祉活動等に使用させていただいています。



岐阜県共同募金会より、皆様が共同募金運動の趣旨を理解され、募金運動にご協力いただきましたことに対し感謝状をいただきました。

## 心配ごと相談

一人で悩まず気軽にご相談ください。

場所…垂井町福祉会館2階相談室  
時間…午後1時から午後4時まで

	12月	1月	2月	3月
第1水曜日	1日	5日	2日	2日
第2水曜日	8日	12日	9日	9日
第3水曜日	15日	19日	16日	16日
第4木曜日 法律相談、予約必要	24日 ※(金)	27日	24日	24日
第4土曜日 (結婚相談)	25日	22日	26日	26日

## あたたかい善意のご寄附 ありがとうございます

- クラレプラスチック(株)伊吹工場様 … 50,000円
- 不破郡労働者福祉協議会様 …… 25,478円
- 匿名 …… 30,000円
- 匿名 …… 22,970円
- 匿名 …… 100,000円
- 匿名 …… 10,000円
- 岐阜県理容生活衛生同業組合不破支部様  
…………… タオル・マスク

## 編集後記

今年ももう12月です。今年の夏は異常な猛暑続きでしたが、一気に寒さを感じる季節となりました。

今年も、新型インフルエンザが流行しています。外出後はうがいと手洗いを心がけましょう。

元気で初詣にでかけられますよう、お体に気をつけてお過ごし下さい。

不破郡労働者福祉協議会の皆様から寄附金をいただきました

